

革新的研究開発推進基金補助金交付要綱第 5 条に基づく公表事項

令和 8 年 5 月 20 日現在

イ. 基金の名称	革新的研究開発推進基金
ロ. 基金の額	32,000百万円
ハ. 上記ロのうち 国費相当額	32,000百万円
ニ. 研究開発事業 の概要	<p><u>AI for Science 革新的研究推進事業</u></p> <p>「AI for Science の推進に向けた基本的な戦略方針」(2026 年 3 月 31 日文部科学省決定)に定められた具体的アクションを先導するフラグシップ事業として、研究活動における AI 利活用 (AI for Science) において、日本の強みを最大限に活かせる戦略ターゲットへの集中投資による世界を先導する科学研究成果の創出、および世界トップレベルの研究機関・研究者との戦略的な国際連携などによる革新的な研究開発を推進する。</p>
ホ. 研究開発事業 の目標	<p>【戦略ターゲット型】</p> <p><u>T1「戦略ターゲット 1」:</u> 将来、我が国の企業が、国際的サプライチェーン上不可欠な材料を迅速に量産することができるよう、新素材開発速度従来比 10 倍の潜在力を有する AI 駆動材料開発システムを実現すべく、</p> <p><u>T1-1「戦略ターゲット 1-1」</u> 推論に革新をもたらす材料科学基盤モデル及び AI エージェント群並びにそれらの国際ベンチマークを開発するとともに、終了後も継続的に必要となる計算・実験データを蓄積できる体制の構築及び資金確保を実現する。</p> <p><u>T1-2「戦略ターゲット 1-2」</u> 材料科学基盤モデル、AI エージェント群、オーケストレーションソフトウェア、先端研究機器などの要素技術を統合し、人と AI が共創して、推論、計画、自律実験、レポート作成までを可能とする、AI 駆動材料開発システムの国際ベンチマークの開発及び概念実証を行い、民間投資を獲得する。</p> <p><u>T1-3「戦略ターゲット 1-3」</u> 特定材料に係る AI モデル及び AI エージェント群並びにそれらの国際ベンチマークを開発するとともに、実際に革新的な材料候補の試作に挑戦し、終了後も開発に必要な資金確保を実現する。</p>

	<p><u>T2「戦略ターゲット 2」:</u></p> <p>将来、仮想細胞・生体モデルや、植物、動物、ヒト・臓器等の「デジタルツインモデル」を実現し、高精度かつ高効率なバイオ製品開発、創薬等において我が国が国際競争力を確保できるよう、我が国の強みを活かしつつ、AI 駆動ラボシステムの開発・活用も含めた大規模なデータの取得や AI-ready データの整備を通じて、3年後までに、高機能なバイオ製品や創薬の高効率設計に貢献するバイオ生成基盤モデルを開発する。</p> <p><u>T3「戦略ターゲット 3」:</u></p> <p>将来、我が国が世界に誇る大型研究施設・研究装置において、高稼働率、高運転安定性、高計測性能等に向けた運転最適化、ハイスループットに向けた自動自律化、AI 駆動デジタルツインモデル等高精度なシミュレーションを活用した仮説検証や実験計画の立案による効率的な測定・実験及び創出される大量なデータの分析能力の向上を実現できるよう、世界最先端の AI エージェント群や AI 基盤モデルを開発・実証する。</p> <p>【国際・融合型】</p> <p>新興・融合分野や戦略方針に定められた重点分野を含むあらゆる分野を対象として、研究力の高い同盟国・同志国等との戦略的な国際連携等により、世界と伍する研究チームを構築し、AI for Science に係る独創的な研究やツール開発・高度化などを推進する。これらを通じて、新たな勝ち筋の探求、もしくは国際的なチャレンジへの参画や国際ベンチマークでの高スコアの達成などの国際トップリーグへの参画を目指す。</p>
<p>ハ. 研究開発事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制</p>	<p>公募要領参照 https://www.jst.go.jp/program/arise/koubo.html</p>